

平成28年12月市長定例記者会見 記録

平成28年12月1日(木)

午前10時～午前10時32分

発表案件

1 平成28年度佐渡市一般会計補正予算第5号について

平成28年度佐渡市一般会計補正予算につきましてご説明いたします。12月定例市議会に佐渡市一般会計補正予算第5号を上程いたします。今回の一般会計の補正予算の規模ですが、5億5,699万7千円を追加し、予算総額が463億4,515万5千円となります。

概要を申し上げます。1番目、国の平成28年度補正予算第2号に伴う経済対策事業について、国から交付内示等を受けましたので3億9,284万5千円を計上いたします。対象事業は津波避難路の整備など災害に備える事業や、佐渡金銀山案内看板を整備する事業などに活用する離島活性化交付金事業として8,691万2千円。消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方に対して給付金を支給する臨時福祉給付金給付事業が2億4,400万8千円。その他の経済対策事業が6,192万5千円となっています。

2番目は、温泉管理運営事業について、地域説明会を開催したなかで頂いたご意見、ご提言を参考にしたうえで、市としては、新穂潟上温泉、松泉閣、クアテルメ佐渡の3施設は今後も現在の無償貸与により運営を継続する方針とし、今回、天井が損傷している松泉閣の2階浴室の機能回復に必要な改修経費として1,950万円を計上いたします。なお、ビューさわた、あかどまり城が浜の2つの施設については、来年度も指定管理で継続する方針とし、ワイドブルーあいかわと金北の里の2施設は譲渡の可能性を検討した上でそれがなければ廃止する方針としました。

3つ目は工事発注時期の平準化事業についてです。佐渡市では初めて取り組む事業ですが、これは、建設業者の経営の効率化と雇用の安定を目的に、工事発注量の少ない4月から6月期に対応するため、平成29年度実施予定の単独工事費の一部について前倒して今年度内に発注できるよう債務負担行為を設定するものであります。来年度以降も継続的に実施し、定例化していくなかで、市単独工事だけでなく、国・県補助事業も対象にできないかを検討してまいりたいと考えております。

4つ目は大相撲夏巡業佐渡場所開催事業についてです。平成29年8月に開催を予定している大相撲夏巡業佐渡場所に係る経費1,300万円について、今年度から準備を進めるため債務負担行為を設定するものです。

なお、その他の経費については、9月補正予算編成後の事由による緊急性のある経費について計上しております。

2 「もっと!佐渡冬紀行」団体募集型ツアー限定販売について

佐渡市では、通年観光の実現に向けた取り組みを行っておりますが、特に冬場の誘客が大きな課題となっております。そこで、国の「地方創生加速化交付金」を活用し、昨年度に引き続き、「もっと!佐渡冬紀行」として、佐渡に来やすいモニター価格を設定し、数量限定で販売いたします。昨年度との大きな違いは、1泊2日を2泊3日に滞在日数を増やし、滞在交流型観

光の促進を図ることでもあります。参加していただいた旅行者の皆様からは、冬の佐渡の魅力や満足度等のアンケート調査にご協力いただき、今後の冬の誘客促進策に反映したいと考えています。

“もっと！佐渡冬紀行”は、250名分の個人型商品を10月28日から先行販売し、約2週間で完売に至りました。今回は、団体募集型旅行商品として首都圏の大手旅行会社3社が630名分を11月下旬から順次販売を開始いたしました。

団体募集型旅行商品では、昨年好評でありました「そば打ち体験」をはじめ、新たに「裂き織体験」「トキの焼き物の絵付け体験」などの体験を商品に組み込み、観る観光から体験する観光をキーワードに、佐渡ならではの非日常を体験するプランとなっております。冬観光の課題であった、海上の時化による欠航リスクの対策として、帰りの日の午後全便が欠航となった場合には、宿泊費を補償する欠航補償制度を組み込んでおります。

なお、今回の事業では、寒ブリを始め共通の佐渡産食材の提供や料理の説明、おもてなし研修の受講、全館暖房など一定の条件を提示して参加する宿泊施設を募集し、6軒から手を挙げていただきました。今回のモニター調査事業のように、今後も官民協働で検討・実施・検証を行い、冬の佐渡観光を盛り上げていきたいと考えております。

3 地方創生推進交付金の追加交付について

地方創生推進交付金が追加交付される見込みとなりましたのでお知らせいたします。この交付金は、本年4月の地方（地域）再生法の改正に伴い設けられた制度であり、佐渡市では8月に「佐渡米ブランディング事業」、「佐渡版DMOを核とした地域づくり事業」の2つの事業についてこの交付決定を受けました。

この交付金については、内閣府から追加募集があり、佐渡市から9月27日付けで交付申請していましたが「“歴史と文化が薫る島 佐渡”体験プロジェクト」が、11月25日付けで内示を受けたものです。今回の内示額は、2,209万5千円となりました。佐渡は、佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本コンセプトにありますように、歴史と文化が薫る島であります。この事業では、佐渡が誇る豊富な歴史・文化資源を、単に「見物」だけにとどまらない「体験型」の観光資源と位置付けた取組を行います。具体的には、佐渡博物館に移設されております古民家の修復を行うほか、先ほどお知らせした「佐渡冬紀行」と連携し、佐渡博物館での体験をオプションプランに盛り込むなど、佐渡の魅力を活かした取組にこの交付金を活用したいと考えております。

4 佐渡トキマラソン2017のエントリー開始について

「佐渡トキマラソン」は、2010年に佐渡で初のフルマラソン大会としてスタートし、次回で8回目を迎えます。日程は4月の第4日曜日としておりますが、今年は伊勢志摩サミット農相会議の都合により第3日曜日の開催となっております。来年、平成29年は従来どおりとし、4月23日の日曜日に開催いたします。この「佐渡トキマラソン2017」へのエントリーが、今日12月1日から開始となりました。毎回、全国各地から大勢のランナーに出場していただいておりますが、地元佐渡のランナーの皆様からもこれまで以上に多くのご参加いただき、大会を盛り上げたいと考えています。参加申込期間は、3月24日金曜日までとなっております。

すが、郵便振替の場合は3月21日火曜日までと早まりますので、お間違えのないよう確認のうえお申し込みください。

また、大会のコースに変更はありませんが、種目はこれまでのフルマラソン、ハーフマラソン、10km、5km、3kmに加えて、新たにエンジョイ2kmの部を設けました。このエンジョイ部門には、小学生以上の方であればどなたでも参加いただけますので、親子などでお気軽にご参加ください。なお、エンジョイ2kmの参加料は、一人500円となっております。

佐渡市では、このトキマラソンのほか5月のロングライド、6月のシートゥーサミット、8月のオープンウォータースイミングとビーチイベント、9月のトライアスロン、10月のツーデーウォークなどのスポーツイベントを計画しています。これらの取り組みによって、市民スポーツの普及や振興につなげることはもちろんのこと、佐渡の豊かな自然を活用したスポーツの島としての魅力を高め、交流人口の更なる拡大を目指したいと考えております。

5 高病原性鳥インフルエンザの対応について

県内で高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例が相次いで確認されております。現時点では佐渡市内での事例は確認されていませんが、副市長を中心として防災危機管理室や農業政策室など関係部署による「佐渡市家畜伝染病防疫対策準備会」を11月29日および11月30日の2回にわたって開催し、今後の具体的な実施対応について協議を行っております。

対応策としましては、①養鶏農家や市民に対しての注意喚起、②学校で飼育している鳥の管理について指導、③死亡野鳥への取扱いについて周知、④ウイルスの侵入を防ぐため、港での出来る範囲の水際対策を実施、この4点について取り組むことを確認しました。今後も引き続き、環境省をはじめ県や農業団体などの関係機関と連携を図りながら情報収集とともに予防対策に努めてまいります。

事前質問

事前質問の提出はありませんでした

質疑応答

(1) 平成28年度佐渡市一般会計補正予算第5号について

記者

津波避難路整備事業、これは海拔10m未満と云うことですが、どのくらい集落の数があるって避難路はどのくらいの幅があるとかわかりますか

危機管理主幹

補助事業の案内を出したところは175集落、避難路の幅は通常人が歩ける程度の幅と想定しています。

記者

いつの完成を目指している

危機管理主幹

申請によりますが、順次申請を頂いたところから整備する。以前2カ年かけて整備しているものですから、今回経済対策があったものでまだ申請漏れや当時考えていなかった集落を整備したいと考えています。

完了予定としては29年度中を予定しています

記者

175集落にどのくらいの市民がいるんですか

危機管理主幹

その数については把握しておりません

(2) 「もっと!佐渡冬紀行」団体募集型ツアー限定販売について

記者

もっと!佐渡冬紀行という名前の割には、募集人数が限定とはいえ少ないなという印象を受けるんですね。良い内容なので、この後の見通しとか予定があれば教えてください。

観光振興課長

国の交付金を活用してモニターツアーということで参加者の満足度を調査することが目的となっておりまして、確かに交付金の関係もあり参加者については制限させていただいている状況です。この後につきましては、交付金も活用しながら体験の種類も増やししながら人数制限がないという形で新たな冬の商品ということで募集していきたいと考えています。

記者

1（個人）と2（団体）で、経済波及効果をどのくらい見込んでいますか

観光振興課長

9,500万くらいと見込んでいます

(3) 地方創生推進交付金の追加交付について

なし

(4) 佐渡トキマラソン2017のエントリー開始について

なし

(5) 高病原性鳥インフルエンザの対応について

記者

対応策の4番目、港での水際対策とあるんですけど具体的にはどんなことを

危機管理主幹

対策ですが、佐渡汽船から協力いただきまして、新潟港の佐渡汽船ターミナルで乗客の入ってくる場所に消毒用のマットを設置して靴底の消毒ということで本日からやっています。

記者

新潟港だけ…

危機管理主幹

新潟港だけです

記者

こちらでは…ようは乗るときに消毒して、乗って出たときはそのまま入ってくる

危機管理主幹

そういう事です

記者

両津港には無いということ

危機管理主幹

入るときだけ

～～

記者

ニワトリが一番危険が大きいと思うんですけど、島内の飼育状況をつかんでいけば教えてください。

危機管理主幹

島内の飼育戸数と数、100羽以上飼育している農家が2戸。それから佐渡ひげ地鶏の農家が6戸あります。このうちの1戸は先ほどの100羽以上の農家と重複しています。この他にJA佐渡のヒナ販売ということで46戸346羽、JA羽茂のヒナ販売が6戸7羽です。

記者

野鳥の会との連携とかはあるんですか

農業政策主幹

今のところそういう依頼はかけていません

記者

野鳥の会って、加茂湖と国仲の平野を調査してもらうとかそんな話しは無いんですか、死がいがあるとか

農業政策主幹

環境省としても監視体制はとっていますのでその辺も研究しながら不安があれば協議していきたい

～～

記者

佐渡市では特に調べていないということですか、市の皆さんは

農業政策主幹

それについては、環境対策課でチラシを出しておりますけども、死んだ鳥については触らないようにとか、もし何か発見したら市の方に連絡してくださいというチラシをまわしてい

ますのでその辺から情報が入ってくると考えています。

記者

やっぱり初動対応が大事なんで、皆さんが公用車でまわってみるとかしないと、市民は安心しませんよね、そんな今のような回答でやっていたら

農業政策主幹

今のところその辺の動きについては取っていないというのが現状です。

記者

市長、これは大事な時期で、速やかにそういう対応を取っても悪いことはないですよ

市長

市民の皆さん全体に対しては、緊急情報伝達システムで注意喚起を施していますし、もし弱ったり死んでいる野鳥を見かけたらすぐ市の方へご一報くださいと、それを踏まえて検査等を行いますと伝達システムで放送させていただいておりますので、後はトキ関係は環境省と連動しておりますし、それ以外のいわゆる（鳥）インフルエンザ対策としては常に県とも防災対策（危機管理）室中心に常にやり取りしております。

記者

100羽以上飼っている2件では消石灰の散布とかそういった処置はやるように言っているんですか

防災危機管理主幹

これにつきましては、直接連絡を取りまして聞き取り調査を行い、消石灰の配布とか観察強化を依頼しています。

記者

いつまでにやるとか、早急にとか

防災危機管理主幹

そうです、はい

記者

やってないですよ、全然

危機管理主幹

昨日依頼…

記者

今日あたりやるっていうこと

危機管理主幹

そこまではまだ確認していません

記者

早急にと言うことで出してるんでしょ

ちなみにこの2件ですけど羽数を教えてもらえます

農業政策主幹

手持ちには100羽以上の農家ということで、羽数までは確認できません。

記者

羽数知りたいですね

危機管理主幹

すぐ調べます。

記者

愛玩用に飼っている鶏は掴めない

危機管理主幹

はい

～～

記者

注意喚起というのは石灰を撒くとかそういう話をされているということですか

危機管理主幹

そうです

記者

全部J Aさんとか含めてやっている

危機管理主幹

はい

記者

養鶏農家さん島内販売ですよ

危機管理主幹

養鶏の種類？

記者

いや

危機管理主幹

ヒナとか卵とか？

記者

そうそう

農業政策主幹

卵については販売農家が1戸あります。

J Aを通さないでスーパーに卸しているという話しです。

～～

記者

今回インフルエンザが見つかった場所での卵が佐渡のスーパーへ来ているとか来ていないとかはつかんでいますか。いろんな料理に使うわけですし、佐渡産のものだけではないわけですし、島外のものも持ってきて調理したり販売したり、そのあたり心配・影響は無いんですか

農業政策主幹

発生しているところについては移動制限が掛かっていますので、問題ないと考えています。

市長

加えて言いますと、国も公表していますけども鶏肉・卵からのインフルエンザの感染については過去の例も無く、その感染経路というのは基本無いと国も言っています。

記者

卵は今回の場所から一部出てるらしいんです

市長

ですから、肉とか卵から人間にインフル感染というのは出ていません

記者

国はそれをストップするようにしてるんじゃないですか、卵と鶏の肉とか鶏は移動禁止になっているけども、すでに前日までのやつが出てしまっている

記者

わかる前に出てしまっているのがある訳だから、出た後にこうなった。これは調べてください

危機管理主幹

食の安全については、鶏肉については先ほど市長が言われたように鳥インフルエンザの感染は確認されていない。

あと、通常の加熱処理75度で1分以上の加熱をすればウイルス自体は死滅する。加熱をして食べていただければ一番安全

記者

報道ではまれに人に感染する例があったという報告がありますよね。今回心配なのは遺伝子が変わるかどうか。そのあたりでの喚起というのは大丈夫ですね

危機管理主幹

注意喚起と言うことで

～～

記者

トキの対策について、国と市で一緒にやっているということですが、上越でも昨日わかって、あらためて対策を教えてください

農業政策主幹

環境省と連絡を密にして対策を取るということで昨日打ち合わせをさせていただきました。今のところ県内発生というレベルの中での対応を取っていますのでこの後状況が変われば協議しながら対応を取っていきたい。

記者

具体的には何をやる？

農業政策主幹

今レベルとしては県内発生ということですが、もし島内に発生するということがあればトキの森公園は閉鎖になりますし、トキについては（個体を）確保して対外的な接触を避ける

というような行動になるかと思えます。

～～

記者

現時点でトキの森公園の閉鎖は考えていない、島内発生しない限りは閉鎖とかは考えていないということですか

農業政策主幹

今県内発生ということで施設については、施設に入る入口のところで消毒と通路の制限をかけている状況です。通路は消石灰を撒いて対応しています。

～～

記者

市長はトキについては今回こういう問題が起きてトキについての対策についてどのような受け止めで考えていますか

市長

基本的には環境省の方がこちらに常駐しているわけですので、環境省側がやっていただく対策に準拠する、それに合わせて市も対応するという形になると思います。幸いトキは鳥インフルには抵抗力がある程度ある種類に入っていますので、その意味では鶏とは違いますが万全の対応を環境省と連携しながらやっていくしかないと思います。

その他の質問

記者

就任してから12月ということで振り返ってみてどのような年だったでしょうか

市長

7ヶ月くらい経ったわけですが、ここへ来て庁舎問題等でお騒がせしたこと長引いていることはお詫びしなければならないと思いますし、温泉の説明会もさせていただきましたけども事後報告的な説明となったことはお詫びするしか無いんですが、今回やってみて可能な限り私だけで無く副市長や職員・支所・SCも含めて極力市民の皆さまの声を直接聞ける場をどれだけ増やしていけるかと言うことも今後の大きなテーマだと感じておりますし、今は内部で来年度の予算組みを進めているところでございますので、今年は決まった予算を消化している段階ですが、来年については優先順位を付けてテーマを持った予算組みに取り組みたいと思っています。